

音楽

学年学級

単元名

日付

場所

授業者

第1学年2組

題材 My Melody

令和4年1月21日

音楽室

主眼

音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。

めあて

音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。

準備

タブレット、TVモニター、学習プリント、教科書

観点別評価規準

【知】音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。

【技】創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。

【思・判・表】リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。

板書

めあて

音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。

音のつながり方の特徴

音の高さ

順次進行…隣の音につながる

→・滑らか

・落ち着いた感じ

跳躍進行…隣の音以外につながる

→・大きな跳躍では、

ハッとする感じ



ヒント

・ほぼ順次進行で作る ・同じ音の動きを、高さを繰り返す。 など

本時の流れ

主な学習活動

①既習であるリズムの学習を想起し、本時のめあてを設定する。

②音のつながり方の特徴について理解する。

・教科書 P21 の Warming up を見て、音の高さに着目して、上行、下行、順次進行、跳躍進行などのつながりがあることを理解する。

③表したいイメージをもち、音のつながり方を生かして創意工夫しながら旋律をつくる。

・音のつながり方を工夫しながら、旋律を作る。
・旋律ができたら、工夫した点をワークシートに書き入れる。

④つくった旋律を発表して聴き合い、意見交流し、見直して、自分の旋律を完成させる。

・意見交流したことを参考に、表したいイメージに近づくように見直して、自分の旋律を完成させる。

主な発問

・旋律のもとになるリズムを手拍子でたたいてみよう。

・音の高さのつながり方の特徴から、イメージを考えよう。

・音のつながり方を生かして旋律をつくろう。

・意見交流したことを参考に、旋律を完成させよう。